



町内の名所を絵画で切り取る

松前町を描く絵画展スケッチ会

「松前町を描く絵画展スケッチ会」は5月14日、町内各所で行われ、全国各地から44人が参加しました。このスケッチ会は、本町とNPO 法人地域美術展協会が協同で開催する「松前町を描く絵画展」の一環で行われたものです。当日は、黄金色に輝く麦畑、情緒あふれる親水公園や町の偉人「義農作兵衛」の像がある義農公園など計7カ所を巡回。参加者は、写真を撮ったり筆を進めたりしていました。参加者が描いた絵画は、2月下旬から愛媛県美術館に展示後、松前町で巡回展を行う予定です。スケッチ会に参加していない人からも松前町の風景を描いた絵画を募集していますので、ぜひ応募してください。

作品

募集作品 30号までの絵画3点まで
締め切り 平成30年2月2日(金)
募集中 地域美術展協会 ☎ 921-8750



④黄金色に色づいた麦畑 ⑤写真に風景を収める参加者 ⑥親水公園の有明公園



ホッケーとウォークラリーを楽しむ

松前町レクリエーション協会「あそびの日」

松前町レクリエーション協会(黒田美勢子会長)は5月21日、全国一斉「あそびの日」に合わせ、「松前・え〜とこホッケーしょうぜ!」と題し、ウォークラリーを行いました。

参加者は、福德泉公園や伊予神社などの名所を巡ったほか、ホッケー公園ではホッケーを体験。えひめ国体に成年男子代表で出場する愛媛ホッケークラブの選手とホッケーを楽しみ、交流も深めました。



④福德泉公園で生息する生物を探索 ⑤「土曜日にホッケー教室をしているから、また来てね」



れんげの花と笑顔が満開

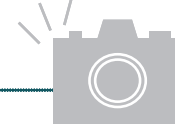
鶴吉れんげ祭り

鶴吉環境保全会(久津那良一会長)は4月30日、鶴寿荘前で恒例の「れんげ祭り」を開催しました。

祭りには地区住民をはじめ、鶴寿荘からも多くのお年寄りが参加。つきたての餅や甘酒を味わったり、一面に咲き渡るれんげ畑の中で宝探しを行ったりしました。

訪れた人々は、春の穏やかな陽気の中で、地域の人々との交流を楽しんでいました。

④れんげとはだか麦が見ごろ ⑤れんげ畑を駆ける子どもたち



三好健二さんに感謝状

総務省愛媛行政評価事務所長感謝状

「平成29年度行政相談委員全体会議」は5月17日、松山市のにぎたつ会館で行われ、その席上で三好健二さん=東古泉=に総務省愛媛行政評価事務所長感謝状が贈呈されました。

三好さんは、多年にわたり住民からの行政に対する苦情や意見要望などを受け付け、その解決や実現のために地道な活動を行ってきました。

三好さんは「これからも行政相談を通じて、微力ではありますが世の中のために尽くしたい」と話していました。

⑥感謝状を手にする三好さん



亀井隆典さんに旭日双光章

平成29年春の叙勲

政府が4月29日付けで発表した「春の叙勲」で、本町から元町議会議員の亀井隆典さん=北川原=が受章しました。亀井さんは、昭和58年に町議会議員に当選以来、議会の円滑な運営や町政発展のために尽力。平成11年9月から13年9月までは町議会議長に就任しました。

亀井さんは「木々や花が芽吹く今春、勲章を頂き多くの方々に感謝をしています。この幸せを大切にこの気持ちを忘れることなく、これからも地域発展のために活動をしてまいります。皆様ありがとうございました」と話していました。



手軽に農業体験ができる場を

「体験農園べるミン畑」竣工式

「体験農園べるミン畑」竣工式は4月27日、同地で行われました。

この農園は、野菜苗生産や販売を行う「ベルグアース株式会社」、体験農園を展開する「株式会社マイファーム」、家庭園芸の専門店「ファンガーデン株式会社」が連携して開園した市民農園で、農具の貸し出しなどを行うことで手軽に農業に親しんでもらえるようにしています。開園に当たり、町は農地の貸し付けの調整などを行いました。

竣工式では、ベルグアース株式会社の山口一彦代表取締役社長が『「育てる」植物の不思議を体験してもらうことで、農業の活性化に少しでも貢献できれば』とあいさつ。その後、小富士保育所園児がミニトマトの苗を植えました。園児たちは「頑張って育てる」とにっこり。収穫を心待ちにしていました。



④竣工式であいさつする山口社長 ⑤べるミン畑。15㎡の畑が108区画ある ⑥ミニトマトの苗を植える園児たち



**はだか麦の豊作を願って**

昌農内生産組合「麦うらし会」

昌農内生産組合(重川鐵会長)は4月27日、昌農内集会所で「麦うらし会」を行いました。

麦うらしは「麦熟らし」とも書き、麦が熟して収穫を迎えるに当たり、出来栄えを褒めたたえて豊作を願うために会を催しています。当日は、農政婦人部約20人が準備したソラマメなど旬の食材を使った料理を味わいながら、町の特産品「はだか麦」の豊作とみんなの健康を願っていました。

④婦人部が準備した料理 ⑤乾杯をして、みんなで豊作を願う

**貴布祢神社春祭りに子どもの歓声**

貴布祢神社「春祭り」

北黒田地区にある貴布祢神社の「春祭り」は4月29日、境内で行われました。

例年、のぼりを掲げるだけだった同神社の春祭り。祭りを知らない人も多いことから、五穀豊穡と子どもたちの安全と健やかな成長を願うため、同地区の公民館役員が初めてイベントを企画しました。当日は勸学祭、野点や餅まきを行うなど、子どもたちの歓声が響いていました。

④勸学祭。ランドセルや通園バスケットを持ち寄り安全祈願 ⑤餅まき

**義農作兵衛の遺徳をしのんで**

平成29年度義農祭

享保の大飢饉の際、後世に麦種を残すため、自らの命を犠牲にした義農作兵衛の遺徳をしのぶ「義農祭」は4月23日、義農公園で開催しました。

式典では、岡本町長が「生活が豊かになった反面、紛争が続く現代だからこそ、人を思いやる義農精神をしっかりと受け継ぎ、安心して暮らせる心豊かな町となるよう町政に取り組んでいきたい」と述べた後、参列者が献花を行いました。

式典のあと特設ステージでは、完熟一期座による「あっぱれ作兵衛」の公演のほか、松前小学校の児童による義農太鼓と伊予万歳が披露され、訪れた人を楽しませていました。

また、町内をはじめ伊予市で生産された海産物や野菜などを即売する「ふるさと市」やえひめ国体のPRブースが設けられ、子どもから大人まで多くの人でにぎわいました。



⑥献花する岡本町長 ⑦国体横断幕を披露する伊予高生。詳細は19ページを ⑧義農太鼓を披露する松前小児童



④歌声で大会に花を添えるひまわり少年少女合唱団 ⑤表彰状を受け取る森川さん ⑥客席にも下りるなど杉原千畝を熱演した水澤さん

**アユの成長を願って**

アユの稚魚を放流

重信川漁業協同組合(本多義雄代表理事組合長)は5月17日、重信川流域にアユの稚魚を放流しました。

稚魚の放流は、河川環境への意識向上と漁業の振興のため、毎年この時期に同組合が行っているものです。当日は、計5カ所に約3万7,500匹の稚アユを放流しました。

アユの稚魚は、組合員らによって放流されると、勢い良く広い川へと泳ぎ出していきました。

**魚のつかみ取りに悪戦苦闘**

松前港祭り

松前町漁業協同組合青年・女性部主催の「松前港祭り」は5月3日、瀧姫神社周辺で開催され、多くの家族連れでにぎわいました。

祭りでは、鮮魚の販売、マグロの解体ショーや魚のつかみ取りなどが行われました。魚のつかみ取りでは、子どもたちが水中を元気に泳ぎ回る魚に悪戦苦闘。魚と追いかけてこするなど、子どもたちはびしょびしょになりながら魚をつかまえ、とびきりの笑顔を見せていました。

平成 30 年度採用

松前町職員を募集します



A～C
7月23日 日
10 時～

D～F
9月17日 日
9 時 30 分～

1 次試験日時

試験区分	採用 予定数	受験資格	1次試験（会場：松前町役場）	2次試験
A 一般事務（上級）	5人程度	昭和 59 年 4 月 2 日～平成 8 年 4 月 1 日生まれの人	教養試験（大学卒業程度） 専門試験（行政）選択制 ほか	口述（面接）試験・作文試験
B 土木（上級）	1人程度	昭和 59 年 4 月 2 日～平成 8 年 4 月 1 日生まれの人	教養試験（大学卒業程度） 専門試験（土木） ほか	
C 保育士	1人程度	■昭和 59 年 4 月 2 日～平成 10 年 4 月 1 日生まれの人 ■保育士資格取得者または平成 30 年 3 月末日までに取得見込みの人	教養試験（短大卒業程度） 専門試験（保育士） ほか	
D 一般事務（社会人経験）	1人程度	■昭和 59 年 4 月 2 日以降に生まれた人 ■民間企業等における職務経験が直近 7 年（平成 22 年 8 月 1 日～29 年 7 月末）中 5 年以上の人 ※ 詳しくは町ホームページで確認してください。最終合格後に職歴証明書などを提出してもらいます。	社会人基礎試験 ほか	
E 土木（社会人経験）	1人程度	■昭和 59 年 4 月 2 日以降に生まれた人 ■①～③のいずれかの資格を有する人 ①技術士または技術士補 ②RCCM ③測量士または測量士補	社会人基礎試験 ほか	
F 主任介護支援専門員等	1人程度	■昭和 42 年 4 月 2 日以降に生まれた人 ■主任ケアマネ資格取得者または平成 32 年 3 月末日までにこの資格を取得できる人	社会人基礎試験 ほか	

※試験の詳細は、ホームページにある採用試験実施要領で確認してください。

◆**申込書交付場所** 申込書は町ホームページからダウンロード（A 4）できるほか総務課で配布します。郵便で請求する場合は、必ず封筒の表に受験したい試験区分（「一般事務（上級）請求」、「保育士請求」など）を朱書きし、長形 3 号サイズの返信用封筒（92 円切手を貼り、宛先を明記したもの）を同封して総務課へ送ってください。

◆**申し込み方法** 原則、郵送でお願いします。必要書類を入れた封筒の表に「受験」と朱書きし、簡易書留で総務課へ送ってください。ホームページからは申し込みできません。

《必要書類》 ①必要事項を記入した申込書
②写真 2 枚（3 カ月以内に撮影したパスポート申請用と同規格（縦 45 ミリ、横 35 ミリ）のもの）
※ 1 枚は申込書に貼り、もう 1 枚は申込書に添えて送ってください。
③返信用封筒（長形 3 号サイズ。あなたの宛先を明記し、82 円切手を貼ったもの）
※ 申し込み受け付け後、受験票を送付します。
④アピールシート（**D** ～ **F** の試験区分のみ）

◆**共通受験資格** ①日本国籍を有する人
②地方公務員法（昭和 25 年法律第 261 号）第 16 条各号のいずれにも該当しない人

◆**申込期間** ④⑤・⑥を除く **8 時 30 分～17 時 15 分**

A～C **6 月 5 日** 月～**21 日** 水
（6 月 21 日執務時間中必着）

D～F **8 月 1 日** 火～**15 日** 火
（8 月 15 日執務時間中必着）

【応募先・問い合わせ】

〒791-3192 松前町大字筒井 631 番地
松前町役場総務課職員係 ☎985-4113

平成 29 年度 臨時保育士・臨時保健師募集中

募集人数は若干名で、個別に面接を行います。随時募集を受け付けますが、決まり次第締め切ります。詳しくは総務課職員係にお問い合わせください。




東日本大震災での教訓を学ぶ
自主防災組織リーダー育成研修会

「自主防災組織リーダー育成研修会」は 4 月 21 日、役場で開催され、各地区の自主防災組織の会長や防災士など 67 人が参加しました。

研修では、東日本大震災を体験し、自衛官として避難所での災害派遣活動に従事した菊池健一さんを講師に迎え講演を実施。震災対応で得た教訓として、地域での連携強化と顔の見える関係づくり、積極的な訓練実施の大切さを訴えました。避難所運営に関するアドバイスもあり、参加者は防災への意識を高めていました。



④協力して土のうを作る参加者 ⑥ブルーシートに土のうを積み、浸水対策 ⑦水防の基本となるロープワークを学ぶ




自転車の安全運転を
無料自転車点検

伊予交通安全協会と伊予地区自転車商業組合は 5 月 17 日、買い物客などを対象に、エミフル MASAKI で「無料自転車点検」を行いました。

点検では、組合員が丁寧にブレーキやタイヤなどの整備状況を確認。自転車の状態を説明し、安全利用を呼び掛けました。

自転車に乗る前には必ず点検を行い、ヘルメットを着用して安全運転を心掛けましょう。




風水害の災害に備えて
消防団・自主防災組織合同水防工法訓練

「平成 29 年松前町消防団・自主防災組織合同水防工法訓練」は 5 月 21 日、徳丸の二輪車公園西にある重信川左岸堤防で行われ、消防団、自主防災組織や松前消防署など約 450 人が参加しました。

毎年、台風シーズンを迎えるこの時期に、風水害による災害を最小限に食い止めるため行われている同訓練。最初に、水防工法の基本となるロープ結索訓練を行いました。消防団などの指導を受けながら、参加者たちは繰り返し実演し、反復して技術を習得する大切さを再認識していました。次に、土のうを作り、それらを積み重ねてブルーシートで覆うことで、急速な増水による浸水を防ぐ工法を実演。杭が打てない住宅地での浸水対策を実演していました。

参加した南黒田自主防災組織の渡辺正治さんは「防災を意識する機会になって良かったです。今日の訓練の内容を身に付けておくことで、普段の安心安全につながると思います」と話していました。